

2018-2019 **中部部報** 第1号

- 国際会長主題 「私たちは変えられる」  
ムン・サン・ボン (韓国)
- アジア太平洋地域会長主題 「アクション！」  
田中博之 (東日本)
- 西日本区理事主題 「未来に残すべきものを守り育てる」  
遠藤通寛 (大阪泉北)
- 中部部長主題 「ワイズ総活躍中部」  
柴田洋治郎 (名古屋東海)

2018～2019年度 中部役員と委員

《部役員》		《クラブ会長》	
中部部長	柴田洋治郎 (名古屋東海)	金 沢	幸正一誠
次期部長	小林滋記 (名古屋南山)	名古屋	深谷 聡
直前部長	山内ミハル (金沢)	名古屋東海	池野輝昭
書 記	八木武志 (名古屋東海)	名古屋南山	近藤 豊
会 計	浅野猛雄 (名古屋東海)	四日市	浅野年嗣
連絡主事	浅野麻琴 (名古屋東海)	名古屋グランパス	荒川恭次
監 事	川口 恵 (名古屋)	津	千賀直道
《事業主査》		金沢犀川	北 肇夫
Yサ・ユース	鈴木一弘 (名古屋東海)		
地域奉仕・環境	下村明子 (名古屋グランパス)		
E M C	塚本浩巳 (四日市)	《中部事務局》	
国際・交流	谷川 修 (名古屋)	事務局長	橋爪良和
メネット	深尾俊雄 (名古屋南山)		
《常置委員会》			
中部情報委員長	荒川恭次 (名古屋グランパス)		

《西日本区代議員》

2018～19年度 山内ミハル (金沢) 2018～20年度 柴田洋治郎 (名古屋東海)

《中部各クラブの例会日・第1例会会場》

金沢	第1例会：第3木曜日（金沢ニューグランドホテル） 第2例会：毎月1日
名古屋	第1例会：第2火曜日（名古屋YMCA） 第2例会：第3火曜日
名古屋東海	第1例会：第2木曜日（ラ・スースANN） 第2例会：第3木曜日
名古屋南山	第1例会：第2木曜日（南山YMCA） 第2例会：第3木曜日
四日市	第1例会：第2木曜日（キッズステーション） 第2例会：第3金曜日
名古屋グランパス	第1例会：第3水曜日（名古屋YMCA） 第2例会：第4火曜日
津	第1例会：第2水曜日（アスト津） 第2例会：第4土曜日
金沢犀川	第1例会：第2木曜日（ホテル金沢） 第2例会：第4木曜日

《積極的に他クラブの例会に出席しましょう》

◎ワイズメンズクラブ西日本区・中部の行事予定

第1回中部評議会：5月19日

第2回中部評議会第22回中部部会：10月6日

中部EMCシンポジウム：2018年内開催予定

第3回中部評議会：2019年5月開催予定



《YMCAとワイズメンズクラブは共に活動します》

◎名古屋YMCAの年間行事予定

学童キャンプ：1期7月23日～27日・2期7月30日～8月3日

・3期8月20～25日

名古屋YMCA主催名古屋市内中学生バスケットボール大会：8月2～13日

日韓ユースセミナー：8月（ソウル）

名古屋YMCA大会：9月29日（土）

ローズコートホテル

秋の根の上まつり：10月8日（月・祝）

南山バザー：10月28日（日）



第24回名古屋YMCAチャリティラン：11月3日（土）



クリスマスキャロル in ライツプロムナード：12月23日（日）

第42回平和の使者クリスマスカードコンテスト：

展示 12月市民ギャラリー（地下鉄久屋大通り駅上北側）



ピンクシャツデー：2月27日（水）

春のウォーキング：3月 →

リーダー感謝会：3月21日（祝）

春の根の上まつり：4月29日（火・祝）

国際協力街頭募金：6月

◎金沢YMCA年間行事予定

みどりっ子キャンプ：8月 金沢わいわい寄席：11月 クリーンキャンペーン：11月

ながまちふれあいフェスティバル：11月

歳末ユニセフ街頭募金：12月

ゆきん子キャンプ：2月 たけのこ掘り体験：4月

たけのこキャンプ：5月 （わいわい農園）→

春のクリーンキャンペーン：5月



◎三重YMCA年間行事予定

夏のプログラム(体操・キャンプ) 講演会と音楽会：10月 チャリティウォーク：11月 国際協力街頭募金：12月・合同クリスマス：12月

スキーキャンプ：12月・2月

YMCA幼稚園卒園式：3月

YMCA幼稚園入園式：4月

YMCA幼稚園まつり(バザー)：5月 →



◎ワイズメンズクラブ西日本区の行事

アジア太平洋地域大会・ユースコンボケーション：8月9～12日(韓国)

西日本区次期会長・主査研修会：3月9～10日

第22回西日本区大会・代議員会：6月22～23日(京都)

《2018-19年度中部部長を受けて》2018-2019年度中部部長 柴田洋治郎  
部長主題：「ワイズ総活躍中部」

活動方針：EMCに注力すると同時に各クラブの実情に合わせた、個性を生かしたクラブ作りを目指す。

ワイズメンズクラブの目的は、第一にYMCAへの奉仕であり、引き続きYMCAとの協働を深化させる。

名古屋、三重、石川、(富山)各クラブ間の連携強化

活動計画：①YMCAサービス・ユース事業

YMCAのプログラムに積極参加する。

②地域奉仕・環境事業

Yサ・ユース事業との協働して各種活動を推進する。

③EMC事業

各クラブは質量相俟った会員増強を図ると共に、自クラブの活性化のための施策を講ずる。

富山クラブ開設に向けて、全面協力する。

④国際・交流事業

国際については、国内において在日留学生はじめ外国人との交流の輪を広げることも対象とする。

⑤メネット事業

まずは、男性会員の意識改革と当事業に対する関心を高めることに腐心する。



## 《西日本区中部ワイズメンズクラブの皆様》

富山YMCA 総主事 松田誠一

富山YMCA総主事の松田誠一と申します。よろしくお願ひ申し上げます。

それぞれのYMCAにおいては、多くの課題を抱えながらも使命の実現に向けて日々尽力し、地域から必要とされるYMCAの働きを常に追い求めています。一夜にして大きな成果を期待できるような時代ではなくなってきたように思います。小さな積み重ねが地域の信頼を得て、今のYMCAを形作ってきました。しかしながら、時代の先駆者としてのYMCAの使命は、現在一つのYMCAによって実現されることはなかなか難しいように感じます。私は同じ思いを掲げた都市YMCAが互いに連携し合い、情報と課題を共有し、それぞれの専門分野を結集した「総合力」がYMCAの大きな武器となるのではないかと感じています。中部地区YMCAのそれぞれの強みを見出し、支援しあうレベルを超えて、統合することで新たな可能性が生まれることを信じています。

そして心より富山でもワイズメンズクラブの復活、再建を願っています。ご支援、ご指導賜りますよう、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

《松田総主事の文章は7年前の部報に掲載したものを一部再掲しました》

《中部のワイズメンは富山クラブの復活を願っています》

《金沢犀川クラブ25周年記念例会の席上、金沢クラブ清水淳君と日本YMCA同盟前総主事島田茂氏(富山YMCA元総主事)から2019年5月に設立総会を目指して準備を進めていると報告がありました》  
富山クラブ設立へのパンフレットが中部ホームページに掲載されています。



## 《中部各事業主査の方針・抱負》

『ワイズとYMCAとの協働』

YMCAサービス・ユース事業主査 鈴木一弘  
(名古屋東海クラブ)

YMCAのプログラムへの積極参加を呼び掛けたい。  
YMCAサービス・ユース献金の目標達成、有効活用を各クラブ、各YMCAの情報の共有と発信  
YYYフォーラムの実施、もしくはそれに代わるプログラムの実施



(リーダー感謝会)

『一年間よろしくお願いいたします』

地域奉仕・環境事業主査 下村明子 (名古屋グランパスクラブ)

倉卓也西日本区地域奉仕・環境事業主任の掲げた事業方針は以下の3つです。事業主査として、区事業主任の方針に沿った活動をしたいと思いますので一年間よろしくお願いいたします。

主任の事業方針はこちらから スマホをかざして今すぐGO!⇒

[http://www.ys-west.or.jp/2018/shunin\\_cs.php](http://www.ys-west.or.jp/2018/shunin_cs.php)



①ワイズメンズクラブ内外にむけた情報発信の更なる充実を図る

・西日本区ホームページに「JAPAN WEST Action!」ができました。各部署ごと、各クラブの活動状況を見ることができます。中部は東海クラブより原稿提出がありましたが、9月3日現在まだアップされていません。活動状況のホームページアップにご協力をお願いするとともに、一度このページをご覧ください。西日本区ホームページの「ホーム」にある地図をクリックするだけです。

スマホをかざして今すぐGO!⇒

ホームはこちらから <http://www.ys-west.or.jp/>



②震災復興への継続的支援

・東日本・熊本の大地震に加え、西日本豪雨への支援が必要となりました。中部では名古屋グランパスクラブが継続的に東北震災支援ツアーを開催しており、西日本区他クラブの方々にも周知されるようになりました。現地訪問だけでなく地元にながらの支援でも皆さんが可能な範囲での支援をお願いします。

③献金の理解

・各献金の目標達成にご協力お願い致します。

『EMC 事業主査として、よろしくお願います。』

EMC事業主査 塚本浩巳 (四日市クラブ)

今期 EMC 事業主査を担当します。さっそく EMC シンポジウムという重責が迫ってきました。どう取り組むべきか悩んでいます。

さる5月19日(土)に前期のシンポジウムが開かれ、高齢化が課題であること、若い人の入会が望まれていました。今期の EMC シンポジウムは、ワイズメンズクラブをどのように PR するか、皆さんと話し合う場にしたいと思っています。



例えば、名古屋地区は毎年チャリティーウォークをおこなっています。ワイズ会員、YMCA 会員から始めて市民運動に発展できないでしょうか。名古屋地区4クラブが協働して、組織力と人脈を活かすことができるとしています。

四日市クラブも工夫して取り組みたいと思っています。

一年間よろしくお祈りします。

『繋がりを含め、新たな出逢いとめぐり合ひ』

国際・交流事業主査 谷川 修 (名古屋クラブ)

「ワイズ総活躍中部」を主題とされる柴田部長の下、国際・交流を担当する名古屋クラブの谷川です。

2回目の理事を務められる遠藤通寛西日本区理事は、「未来に残すべきものを守り育てる」という主題を掲げられ、中井信一国際・交流主任は「めぐり合ひ、つながり、出逢いを楽しみましょう」との主題を掲げてスタートされました。

会員数の減少が顕著な今、理事は未来を展望し、守るべきものを守り育てることの重要性を謳い、中井主任は、交流の基本となるめぐり合ひ、そして、繋がり、新たな出逢いを楽しもうと語ってくれています。

中部もご多分に漏れず、会員数の減少傾向が続き、このままいくと、消滅してしまう危険水域にあるかと思ひます。中部のクラブメンバーが繋がりを含め、新たな出逢いとめぐり合ひによって、新メンバーを増やすことが大切かと思ひます。交流は単に在籍するワイズメン同士の交流に留まることなく、交流の輪を広げていくことが大切なのだろうと思ひます。

とはいへ、スタート早々に、金沢犀川クラブの25周年記念例会を多忙を理由に欠席した私です。中部以外の部会への参加も思うに任せない状況に、我ながら情けない思ひでいます。今後、新たなめぐり合ひ、出逢いとなるような交流の機会を構築していかねばと思ひています。各クラブ、思ひをひとつにして、会員増強につながる交流の輪を広げていきましょう。そんな機会となるような場がありましたら是非ともお声掛けを宜しくお祈りします。

(西日本区大会における表彰基準)

①BFの使用済み切手締切は2月末、現金の締切は3月15日

②IBC、DBCの表彰対象確定は3月末(その後予定があれば申請可)

『皆さんからの情報提供お祈りします』

中部情報委員会 荒川恭次

中部情報委員会は今年度も精力的に情報発信を続けます。各クラブのイベント、各地域YMCAのイベント等積極的に中部ホームページに開示しますので、情報提供をよろしくお祈り致します。

ホームページに観にいかなければ情報を得られない受身の情報発信ツールですが、各クラブのメール委員さんイコール中部情報委員として、クラブの皆さんを中部ホームページへ誘導してください。ワイズメンとして必要な情報はもとより、地域奉仕活動の発信の場として一般の方にも見ていただけるよう豊富

な情報を発信したいと思います。併せて中部ホームページを管理していただける仲間を募集していますので手を挙げてください。

中部ホームページ(以下HP) <http://www.ys-chubu.jp/main/index01.html>

西日本区HP <http://www.ys-west.or.jp/>

名古屋YMCAHP <https://ngoymca.org/>

三重YMCAHP <http://mieymca.com/>

金沢YMCAHP <http://www.ys-chubu.jp/kanazawa-ymca/>

富山YMCAHP <http://www.toyama.org/jp/>

中部各クラブのホームページ

金沢・名古屋・名古屋東海・名古屋南山・四日市・名古屋グランパス・津・金沢犀川クラブは中部ホームページの各クラブ紹介をクリックしてください。

まず西日本区のHPを開き、全国のワイズメンをクリック、中部のHPを開きます。各クラブの紹介、また、リンク集で各YMCAのHPへ。

#### 《各クラブ会長の方針・抱負》

『語り合おう、伝え合おう、楽しいワイズライフを』

金沢ワイズメンズクラブ会長 幸正一誠

今期、金沢クラブは7名のワイズ、功労会員1名、広義会員2名のメンバーでワイズ海へ船出をします。7月の初船出に際して通常は「納涼例会」の楽しい食事会となるのですが、今回は会員増強へ向けて検討会を行いました。クラブの今後を考え、危機感を持ってスタートとするキックオフ例会としました。クラブ会費の事、ゲスト対応の事、例会場所、種々の問題点が挙げられ、メンバー各自が危機感を持って臨む一年となりそうです。

掲題のクラブ主題に基づき、先ず実行する事は「例会へ多くのゲストを誘おう」と決定しました。クラブ内で種々語り合い、それを伝え合っていく、多くの人を例会へお誘いしよう！クラブ例会に参加いただき理解を得る。これ以外クラブ存続の道は無いと考えています。現在、2名の方がゲスト参加されており、今後に繋がればと期待しています。

この一年、金沢クラブらしく楽しい特別例会を開催し、メンバー間の親睦をも大切にクラブ活動を実りあるワイズライフに結び付けたいと願っています。

『クラブライフで平和を広めよう』

名古屋ワイズメンズクラブ会長 深谷 聡

今期、名古屋クラブの会長を仰せつかりました深谷聡です。



目を覆いたくなるような最近のニュースを目にするたび、堪え難い気持ちになるのは自分だけではないと思います。それは、犠牲になった若い命と、加害者となった若者の闇に無関心でいた我々の年代の者が共通に抱える痛みでしょう。

現代の日本では世界有数の先進国となりました。Made in Japan は海外でも高い技術と精巧な製品評価と信頼を得ています。その陰で、犠牲にされてきた弱さもまた、山積みされているのではないのでしょうか。1844年、経済発展の中のイギリスで、労苦にあえぐ当時の青少年労働者の為に YMCA は結成されました。12名の祈りの会からの始まりでした。あれから174年、YMCA 運動は今も継承されています。主として信徒による超教派で、価値観を同じくする仲間たちで協働をしていく精神は、今も私たちが受け継いでいるのです。「いかなる神の元であっても人は平等である。」と私もまた確信しています。

我らワイズメンズクラブの歴史は96年の歩みを続け、世界148クラブに拡がり、我が名古屋クラブも70周年を迎えました。諸先輩方の努力のお陰と心から感謝します。ワイズの将来を悩む声を最近よく耳にします。これはいつの時代にも定義される課題であると思います。答えを待っていても前には進まないと思います。

YMCA は、メンバーの年齢層や、時代に合ったプログラムを常に求められます。人々のニーズや気持ちは時の移ろいと共に変化するものです。しかし、200年前のイギリスも現代の世の中も、時代背景、国情の違いはあるものの、人間の持つ根源的な苦しみ、青年の悩みの中に類似性を見つけられるのではないかと思います。ワイズがあるべき立場はなんだったのか、原点はなんだったのか再考することから始めてみましょう！まずは自分たちのクラブライフの原点回帰をする必要性を痛感します。我がクラブは年齢層が広く、仕事も宗教も多種多様。それは財産であり、難局に立ち向かえる武器になります。其々がワイズメンズクラブに求めるものは100人いれば100通りで良いと思います。

まずはクラブ内で仲良くなれる方法を模索する事を提唱します。他人のミスを許しましょう。まず受容しましょう。違う立場の時に許された事はありませんか。YMCA の求める真のボランティアを作りだすことができ、ワイズメンズクラブ、YMCA が救いの場になると確信します。クラブの将来性を語れると思います。「愛は最強の楯となり、鋒になります。」皆が平和を求めています。愛、平和、平等をバックボーンに進めましょう。YMCA の持つ精神を理解して、月2回の例会に参加してください。

『喫茶去』

名古屋東海ワイズメンズクラブ会長 池野輝昭

「お茶でも召し上がって、ゆっくりしていきなされ」、



まずはクラブ活動の活性化を図る第一歩は親睦、そしてクラブの体質改善、変わらないためには、変わらなければならない。

活動方針の第一は毎月の出席率 100%の完遂（メイクアップを含め）、EMC への意識の高揚、新たな出会いを求め、ワイズメンとしての良識を共有できる新入会員の獲得、そして柴田部長のもとに第 22 回中部部会の成功を願い、クラブメンバー全員参加を目指します。

『輪を拡げ、明るく、楽しく、元気よく、YMCA と共に』

名古屋南山ワイズメンズクラブ会長 近藤 豊

当クラブは現在 8 名の小クラブになりました。少人数で出来る事を進めたいと思います。幸い、40 年以上続く「フェロシップ in 南山」であり、いろんな施設の子どものための「芋掘り」に当クラブの「ワイズ農園」に招待しています。これはメンバーが汗を流し、作付けから栽培管理をして丹精込めたものです。

YMCA の南山幼稚園、かみさわ保育園の子どもたちの他に地域の多くの施設の子どものたちを招いています。お金でなく、汗での地域奉仕です。

農場ではサツマイモと玉ねぎの秋冬の無農薬栽培を進め、農場例会の回数を少し増やしながら、これに賛同するメンバーを確保していきます。



『心を高くあげよう』～存続か、解散か、EMC か～

四日市ワイズメンズクラブ会長 浅野年嗣



四日市クラブのここ数年の現状は、会員数の激減に伴い、出席 2～3 名の例会もあり、マンパワーの不足はクラブ活動の資金不足でもあり、委員会活動もままならず、責任あるクラブとしての体をなしていません。

ビジターを招いても、少人数の例会には貧弱に映るのか、入会には至らない。

存続のケース・・・BF、CS、その他の助成金のカット・・・研修会、部会など出席者の負担が増える。

解散のケース・・・ワイズメンを名乗らず、会費で地元 YMCA の支援を続ける・・・西日本区、中部、BF、CS などの負担金、研修会などの出席助成金など

(40万円弱)を地元 YMCA に還元できる。

EMC・・・これの達成が理想だが・・・

クラブとしての在り方を、メンバー一同話し合う1年としたい。

『新たな展開に向けて』～クラブの扉と心を開いて仲間を受け入れよう～

名古屋グランパスワイズメンズクラブ会長 荒川恭次

会長主題：「新たな展開に向けて」 クラブチャーター以来3度目の会長職です。慣れたものと思われるのは大きな間違いです。それぞれの時代の背景にある社会環境は全く違います。1996年、2007年、そして2018年、初回会長から22年経過し、家族も増えて孫が3人、随分歳を取りましたが、生きるモチベーションを高く保つためにも、この一年楽しみたいと思います。そこで、新たな展開に向けての行動を起こしたいと思います。

事業計画：1.第1例会はクラブの門戸を開放し、誰もが自由気楽に参加できる空気を作り、ゲスト参加者を積極的に誘いましょう。

2.第2例会は事務例会に特化し、クラブ運営を考える例会とします。

3.YMCA との協働関係の向上を図るため、各委員会、プログラムには積極的に参加して、一歩踏み込んだ関係を構築します。

4.グランパスクラブの魅力を積極的に情報発信します。

2022年のワイズ環境大改善ゴールを目指した「新生ワイズ起し運動」はその手段・方法に決まりはありません。部・クラブで考え、その地方に根付いた独自の文化に基づいた斬新な取り組みが期待されています。

私は自由奔放なグランパスクラブの気風を活かした取り組みを継続したいと思います。名古屋 YMCA は昨年度よりブランディング活動に積極的に取り組んでいます。外国人への日本語学院も開設されました。グランパスクラブは YMCA のサポートを第一義として、これからも活動を展開します。そして、ご賛同いただける老若男女、年齢を問わず、若さに満ちた新たな仲間を迎えたいと思います。

『ワイズの輪を広げよう』

津ワイズメンズクラブ会長 千賀直道



昨年に続いて今年も会長を務めることになりました。主題への思いは、一人でもいいからメンバーに加わってほしい、そのためには楽しい例会、あの会なら行ってみようと思っただけのような企画をこつこつと実行する。立ち上がるタイミング、勇気がなかなか

つかめなない。でも、一つ一つ実行していきたいです。

今年の活動計画は Y サでは三重 YMCA の活動を支援する。各行事への参加、地域奉仕・環境事業では継続して推進している施設へのクリスマス訪問プログラム、特養での新年餅つき大会を今年も実施したい。

中部での役割を受けるパワーがないためご迷惑をおかけしています。一日でも早く貢献できるよう務めたいと思います。

『明日に向かって飛躍！ワイズの輪を広げよう！』

金沢犀川ワイズメンズクラブ会長 北 肇夫

金沢犀川クラブが更に発展するように、いっそう魅力的な活動を展開したい。

会長主題：「明日に向かって飛躍！ワイズの輪を広げよう！」

活動方針：

1) 会員増強をクラブ運営の第一目標として、成果を出したい。



会員各自の長所や得意分野を活かして質の高い活動を展開しており、これを継続したい。

例会充足率の向上をとおして、会員各自の諸活動によりクラブの活性化に繋がるようにしたい。

←（金沢犀川クラブ 25 周年記念例会）

2) 情報の伝達：

HP や E メール の活用を継続し、例会などの参加者を増やし、認知度を高めてゆきたい。

3) 金沢 YMCA への支援：

金沢 YMCA や金沢クラブとの 3 団体協議の機会を増やし、円滑な事業の実施に結び付けたい。

地域コミュニティの構成に繋がる諸活動をとおして、地域の絆をいっそう深めたい。

なお、身の丈に合った活動をとおして、健康維持にも心がけたい。

《一年間皆さんのお支えを宜しく申し上げます。》

2018－2019 年度 中部部長 柴田洋治郎

中部次期部長 小林滋記

中部直前部長 山内ミハル

中部書記 八木武志 中部会計 浅野猛雄

連絡主事 浅野麻琴 中部監事 川口 恵

中部事務局長 橋爪良和

《2018～2019 年度中部部報 第 1 号》 2018 年 10 月 6 日発行